十三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙　一ヶ月　金六十錢
□郵　稅　金十五錢
□一　部　賣　金二錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓增
□電話（平）　七八六番
□振替口座東京　一〇八・五六五
發行所　福島縣平市田町十六番地　磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人　森　合　英

閼伽井嶽

口よ正直であれ

はの字

口は禍の因？と題して曾て本欄に宣傳の大きな力を語つたが、其の方法が文書であつても書であつても結局は言葉と云ふものに及びがつかぬ、それは口から直接に出る言葉には文や書で表現出來ない微妙な意志を他に與へるからだ言葉に盛り切れないものを表情や態度で補ふからである、花も恥ろう何かの無言の力の如き言葉の上をさへ越してゐることは肯かれるであらう、

だから口を利けぬことではどうにもならぬ、しかし如何に巧い事を云つても嘘では何んにもならない、文や書なら嘘は書けても口ではそうは參らぬ、眼のあるものには性根を看破られて終ふ、ところが事實この眼のあるものは寥々たるもので裏を返して見直す識者はそうザラにはゐない、大衆は案外單純で僞りであるほど巧い言葉に捕虜になつて終ふ、其のため下手に遠慮して正直なことだけ云つてゐると飛んだ馬鹿を見ぬとは云へない、要は相手の程度如何によるものとしてクダけて終へばであるが感心されるクダけ方とは云はれぬだらう、

口を利けぬでも困るが巧み過ぎるものは尚ほ困る、我が國古來の道德は口をきつく戒しめてゐる、自己吹聽と云ふことを極力排斥して來た、それは他の何かを求め樣とする功利心が人格修練に害を及ぼすと云ふ見解からであるのだだから、ほんたうに親交を結ぶと云ふなら會つて話して見ることである、國と國との關係の如きも致て個人と異りはあるまい。たゞお互に眞實を語り合ふことである、

文藝

小說は再讀して味ふものではないといふ議論も或は成り立つかも知れぬ
（川端康成）

小山田滋氏
送別短歌會の記

高木稻水

小山田さんの話は一月に新聞社に入つた當時に聞いてゐた。何時だつたか、多分二月の末だつたらう。電話で短歌の寄稿をお願ひした事もあつた送別會の話は高瀨君が電話で社に通じて來て、新妻君の出勤となつて具体化した。

私としては短歌會の人達に會へる事を樂しみにしてゐたのであるが、「蛇の傳說」の折實地踏査に自轉車で乘りまはしたせいか、先週あたりから身体の調子が再び異常を來たし、當九日も午後は寢込んでしまつた。午後三時の筈だつたと思つてゐる中に四時半になつた。文藝部なんて新聞に出してゐて出席しないでは申譯がないと思つて「一寸顏だけ出して來る」といつて出掛けた。谷口の八角の間では皆さんが小山田さんを中心に歌論か何かをやつてゐる最中だつた。机上には短册があり半切がある。紹介されて見ると電話で聲だけ聞いたり新聞で名前だけ知つてゐる人が多かつた。五十嵐さん、金成さん荻原さんは電話の聲だけで承知し、鈴木さん（紫浪）野本さんは活字の上だけで承知してゐた組である。小山田さんは信州人ださうで、さういへば風格、談論が氣骨を帶びてゐる五十嵐さんは想像ではもつと若い人かと思つてゐたのも意外だつた。

宴に移つてからの自己紹介は各人の歌歴やその他の發表があつて面白かつた。普通の集りと違つて皆一脈通ずるものがあるからどうしても愉快なのであらう、身体の具合のわるいことも忘れて最終迄殘つてしまつた。

野澤君が出席する筈だからと思つてゐたのに野澤君もおくれて出掛けたさうで此點甚だ申譯なかつたと思つてゐる

文化聯盟の話も出で、翼贊文化なんていふ話もあつたが私の文化聯盟は文化人が横の連絡をとり敢然として街頭に進出せよといふので敢へて時局的際物的の文化を意味しない。

和歌

『送別短歌會』から

小山田滋氏

松村　清
やめて久しくあれば歌もたず今日は來にけりこれの集ひに

○

荻原たけ子
梅かほるこのよき晴れや產業の大人のみ上に幸あれとのみ

○

渡邊何鳴
きさらぎの風まださむきこのゆふべ君としばしのわかれ惜しまむ

○

五十嵐雄二
產業の第一線に指揮棒とる小山田大人のすがた尊し

○

藤橋清一
幾とせかそのひざの上にだかれゐし師の移り住む東京を戀ふ

連續講談

異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

（147）

桃川若燕
畫　城木喬

討入三隊

『御城代樣、恐れ入りまするがお尋ね申し度い事がござります』

『何事かの』

『御台樣の前にて仰せられました事は定めし詐りでございませう、あの場には多くの腰元共も居りました事故、わざとあの樣に仰せられたのでござりませう、茲は何人も居りませぬ、何卒仇討の手筈等お物語り下さいます樣、私より御台樣に申上げ御安堵遊ばすやう計らひまする』

『コレ〳〵戸田殿何を仰せある。仇討などとは全く身に覺えのない事。以後左樣な事は無用になされい』

『左樣なれば、もう何事もお伺ひは仕りませぬが、只一つ御伺ひ申し上げ度きは外の事でもござりませぬ昨年お家の大變と共に別れました兄の小野寺十內や弟の幸右衞門は其後何れに居りませうか』

『オヽ何事かと存じたら十內や幸右衞門の事か……十內は當時京地の祇園と申す所に居る』

『祇園と申しまするとは遊女の居りまする、不淨のところ、何を致し居りませうか』

『十內は幇間を致し居る』

『太皷持と申しまするとは調練の太皷でも打ちまするか……』

『イヤ左樣ではない、幇間と云ふは申さば男藝者、酒間に侍して種々の藝をする十內は卻々の粹人での、踊りも踊れば歌も唄ふ、就中十內の裸踊りは當時祇園で有名になつてゐる、イヤ卻々上手なものだ』

『もう兄の事は承はりますまい、恥を知らぬと申さうか、兩刀帶した武士が事もあらうに男藝者に成り下らうとは……』

『イヤそれが當世でござらう堅苦しい兩刀を帶さうよりも絃歌に明け暮れる幇間の方が何れ程氣安いか知れぬ、オヽこれは忘れてゐた、拙者京地に居る折一つ二つ詠んだものなど一纒めにして持つて參つた、今のお怒りではお手にはあふまいが、お怒り鎭まりし節御台樣にお目にかけ呉れるやう……然らばこれにてお暇を致す、呉々も御後室樣のお身を賴み置くぞ』

『ハイ及ばずながらこの戸田が……』

大石は苦惱を胸に秘めて南部坂を退る。

と話しは變つて時刻迫るか兩國藥研堀の堀部方には一人二人と次第に同志が集つて來る。時に彌兵衞が志として酒を出した。肴は小松菜に鴨の吸物、これを見て大石內藏之助は大いに悅んで、

『堀部老人流石は尊公の御指圖と見えて今夜の酒宴に菜鳥の吸物とは此上もなき滿足である』

『イヤこれは御城代の御賞美に預り忝なうござる』

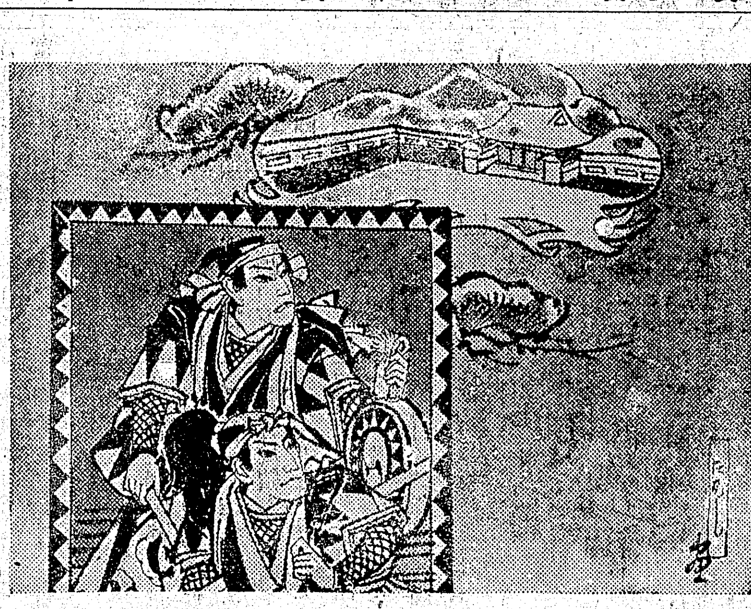
堀部はお留守居役を勤めて通人だから菜鳥の吸物を出したもの、それに引きかへて武骨者の武林唯七などは判らない、さうかうする中に夜が更ける。雪は段々と激しく降つて來る樣子ゆゑ、余り更けぬうちに橋を越して置かうと云ふので本所三ツ目の杉野十兵次方に集まるものにも命を傳へて前原伊助方へ一同會する事にした。その內に吉良邸のお茶會に隱密役を勤めてゐた木村岡右衞門が歸つて來た

『先刻大友近江守、品川豐後守お客樣は一同お歸りになり吉良邸は今や深々と寢入り端なにござる』

と云ふ注進、

『ウム時刻はよい、吉田殿、先刻の案文はよいであらうな……』

と云つた、が、これは幕府に對して討入りの趣意を知らせると共に大義を天下の人々に知らせよう心組である。



待望の國技大相撲愈々上映

昭和十六年春場所記錄
第一部激鬪前半戰上映

大鐵傘下、男と男の肉彈相搏つ土俵の激戰！　兩國國技館春場所は、一月十日その豪華絢爛の幕を切つて落しました。聖戰下五年の春を迎へて、國技の眞髓は愈々發揮され、眞摯敢鬪する力士達の活躍は、連日大鐵傘を搖がす熱戰の連續となつて日本全國を熱狂の坩堝と化してをります。

「國技大相撲」は豪華雄渾の土俵入りその他初日の諸儀式に始まり十五日間連日の好取組を日を逐うてもらさずカメラに收め、華麗弓取式その他千秋樂の諸儀式を以て終る長篇相撲映畫で『激鬪前半戰』『敢鬪後半戰』の二部に分けて第一部から公開されるものです。從來は「大相撲日報」として毎日前日分だけ公開されてゐましたが、今場所からは諸方面の意見を斟酌して上述の通りに改められたもので『大相撲日報』の短所を改良した相撲映畫の完璧篇であります、

……映畫ファン相撲ファン見逃す勿れ……

東寶映画日本全國獨占配給

姉妹の約束

年頃の娘さん達はふくらんだ胸に希望と未知への冒險を包み、何を考へ何を夢見る？　娘さんを持つた世のお母さんに、この映畫を捧げます。新しい時代の娘心を代表する三大スターのコンクール

原　節子……躍動する美しさ
花井蘭子……清楚な美しさ
若原春江……純情な美しさ

ダークコンゴ

世界的探檢家デニス夫妻製作、暗黑秘境の歡喜生活の曝露篇、廿世紀フオツクス超大作

【十三日より封切】

平東寶映画劇場
聚樂館
電話四七〇番

久

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

電九・九九

＝氣分のよい＝
＝皆樣本位の＝
＝喫茶と洋酒＝

小名濱町上町
紅椿
【女店員募集】

國民擧つて防火塗裝を！

回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長

1、太陽無機コロイド塗料は絕大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料は他にありません
3、粘着力非常に強く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時は水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました

回大量使用の御注文並に團体的御申込へは實驗の御希望に應じます

專賣特許　太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店（平市仲町通り　電話二六二番）
カタログ進呈

トンカツ

とんかつ專門の店
かの家
平市仲田町
電話四六五番
出前は迅速におつとめ致します

◎生徒募集
第一學年二百名
入學申込　四月五日限り
平市城山
磐城青年學校

生徒募集
學舍長　法學士　大和田忠良

中等科　男百名
專修科　男女百五十名
教員養成科　男女五十名

磐城佑賢學舍（電話九三番）
◇校史三十年卒業生四千余名
銃後青少年鍊成の道場

產科、婦人科
根本醫院
平市南町　電話三四番

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
平驛前
高柳醫院
電三三六
醫學博士　高柳博明

セメント製品
セメント製風呂、タイル貼りナガシ、ゴミ箱、外種々
御用命は――
大谷建材店へ
紺屋町　電話三六六番

◉中古純綿◉純毛掘出し物地縞◉正紺絣◉紺織色、紋平◉メリヤス◉チヤンバーヅボン◉オーバー◉布團類◉作業服◉洋服類

產業戰士必需品豐富荷揃

伊關吳服店
平市二丁目角　電話三三三番

內科
小兒科
物療科
◎入院隨時◎
四倉町本町
菅波醫院
電話六三番

一瓢
乙な通で
おでん
[illegible]

專門藥　りんびやう　こしけ

岩里　別府淋藥　一週間分　參圓（黑）　五圓（赤）
痛みある病、熱ある病
岩里　別府散　七包入　五十錢　十五包入　壹圓
製藥本舗　別府市　岩里天然堂
代理店　阿康藥局
平市古鍜冶町一〇　電話四四番
振替東京三〇〇五六番

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

手術室完備
外科專門
野村外科
小名濱町古湊
元　津村屋跡

義務觀念强調されて
納税成績良好
過年度滯納僅か千八百餘圓

今次事變以來義務觀念が强調されて納税成績は極めて良好となり平市過年度の滯納一萬八千百七十五圓の内今年度に入つてから一萬六千七百八十九圓納付され未濟のもの僅かに千三百八十五圓と云ふ、事變前に比較すると雲泥の差ある好成績を收めてゐる、更に今年度の調停額十六萬九千百九十三圓に對する未納額は現在一萬二千三十五圓で納期至らず徴收中のもの過半數を占めてゐるから年度末までには完納するものと見られ、市税に關する限り財務陣から赤紙を出して强制處分するなど概して手數を要しないやうに成つた

滯納者激減の原因は素より國民の義務觀念が强く成つたことにも因るが、納税組合奬勵なども大きい因を爲してゐる、即ち平市内の納税組合數は二百餘組に達しこの組合員三千戸を超え市民の過半數が組合に加入して期日違はず納付してゐることが大きい力を爲して居り、今度改正する納税組合規程なども全市民の組合運動を起すことが目標のやうである

税金中で最も難點とされてゐた戸數割が廢止され、代つて出來た國民税額が極めて少額と成つたことも滯納減に相當好影響を齎らしてゐる

戸數割廢止と
納税組合が成績向上の素
山野邊市財務課長談

別項、市税の滯納減について山野邊市財務課長は語る

滯納額の減じたのは勿論市民の御自覺に因るものでありまして喜ばしいことです從來最も多かつた滯納は戸數割でありましたが、これは税務吏員でも査定が非常に難かしい爲、負擔率についてお互ひに『あの家はタツタあれだけなのに、俺の處が高過ぎる』など〻不平出たりして心ならずも納期を過ぎるものが非常に多かつた、難題の戸數割が國民税に替つて比較にならぬ程低下しましたから今度は不平の對照もなく成つた譯です市役所としても一般に理解されて來たのですから滯納の强制處分など極力避けまして『話せば判る』主義の下に折衝し、努めて指導的に懇談、隣組などの協力を求めて義務の履行を圖つて居ります、納税組合の發達なども成績向上に大きい役割を以て居りますからこの方面の助力にも力を注いでゐます

初巡視の江邊知事
常磐炭礦慰問
十七日・義勇軍壯行會臨席

濱通り地方初巡視中の江邊知事は十六日來郡左の日程で常磐炭礦を視察するが、古河炭礦では過般の落磐慘事で犠牲と成つた渡邊芳吉、柏倉與藏佐々木傳四郎、豊田順出四坑夫の遺族を弔問し金一封宛贈ることに成つた

△十六日、古河炭礦（前九時半—午後一時）同磐城炭礦（午後一時半—四時十分）住吉屋本店宿泊

△十七日、入山炭礦（後九時廿分—後零時卅分）

尚江邊知事は三大炭礦慰問を終へて十七日午後一時から平市公會堂に開催する『滿蒙開拓青少年義勇軍壯行會』に臨み一同に訓示し、福島中隊旗及指揮刀を贈呈して一行の士氣を皷舞することに成つた

鑛山景氣で
滯納解消
未納は僅かに二、三件

平税務署管内の滯納礦區强制競賣は本紙へ掲示廣告以來狼狽して完納するもの相次ぎ十五ヶ所の滯納處分に對し現在尚殘つてゐるもの僅か二、三件に過ぎず流石に鑛山黄金時代を物語つてゐる

尚殘つた礦區は何れも石炭を除くものが多い

籾摺業指導

縣農産物檢査平支所管内、一市二十二ヶ町村の籾摺業者指導取締りと檢閲は本十三日午前九時から平警察署會議室で行はれた、約二百名の業者が集合、許可証、調査申告書等の調査を所員總出で施行、午後一時から久和署長及び安島所長の午前中の調査に就いての講評訓示があつた。取締方法次の如し

1、台帳檢査、2、業績の照査、3、指導方法、4、取締施行前の準備

公立中等學校巡り
（十二）

呱々の聲擧げ一年
洋々たる前途
縣立平工業の巻【上】

【創業の苦心】

平工業學校は生れてまだ滿一歳にも達しない。赤ん坊學校だ。創立が昨年の四月十七日開校式をあげたのが五月の十四日だといふ、三井榮一氏の寄附二十萬圓を筆頭に常磐三炭鑛七萬、日曹三萬、その他日立、諸橋、日電、戸部の各一萬圓、更らに平市が不足分の廿萬からのお金を出して國家各方面の技術者大量要求といふ時局の波に乘つて平市第三番目の縣立學校として呱々の聲をあげたのだ、生みの苦しみは樂でもなかつたやうに聞いてゐるが、中等學校の入學志願者を緩和する點からも町の發展上も至極結構なことである。平工業は赤ん坊なるが故に明るい希望を前途に持つてゐる。現在は磐中舊校舍を假校舍として授業をやつてゐるが、今夏から工事にとりかかり來春迄に平商業學校附近に一萬余坪の廣大な敷地を占有し建坪千七百九坪の堂々たる校舍が出來上る筈になつてゐる。建物は三棟でその中一棟は二階建となるといふことである。生徒の實習用の機械類は十八萬六千圓の豫算で目下どん〳〵購入しつつあるといふことであるから、やがて新校舍にはこれらの機械類が備へつけられる事にならう

現在は生徒が七十名、職員が校長以下九人であるが來學年には生徒が百四十人、職員が十五人になる筈である。ここで小野先生に創立當時のお話を伺つて見よう。

創立當時は先生は八人ゐたのですが專任は校長先生と私と山崎先生の三人だけでした。それに電話もない、器物もないといふ有樣であるものはただ豫算だけでした、それで私と山崎先生とが書記の仕事も小使の仕事もやらねばならんといふやうなわけでした。考査は二百二十八人の志願者を磐中に集めて磐中の先生方に手傳つて貰つてやりました。磐中では當日は行軍をやつて教場をあけてくれました考査期日は五月十日と十一日でしたから磐中では授業をやつてゐたのです。現在になつてやつとどうにか學校としての体裁内容が整備して來ました。

【生徒情況】

現在居る七十人の生徒に就いてその學歴を見ると、この學校は高等卒業生を入れて三ヶ年教育するのが建前だから全部高卒以上である事は説明を要しないだらう。その他青年學校や佑賢學校からも來てゐる、

生徒の出身地は平市の八名郡下の四十四名、双葉の二名茨城の二名が多い方で是は高卒を入學資格とする學校だからかうなるので將來尋卒を入學資格とする五ヶ年制の工業學校に發展すると市内がもつと多くならう、父兄の職業は多い方では農業の三十四名、會社員の十二名、官公吏八名商家七名であつて、農業の多いのが一寸意外だが、これは郡部から多く來てゐる結果である。市内の兒童は尋卒から中學なり商業なりに入つてしまつて、高等に殘る者はどうしても少ない、郡部は多少事情が違ふ。優良な生徒を採るのには五ヶ年制にして六年から採るに限る。通學別を見ると汽車通學生は四十名で半數を超過してゐる、之も市内の生徒が少ないから當然の結果といへよう。

庶民金融公益質屋
利用者激增
開店來の貸出し五万圓突破

運轉資金二万圓を準備して一昨十四年店を開いた平市公益質屋は本年初めて年度成績を見られる譯であるが昨年四月以降當三月現在に至る業況は貸付總額四萬八千三百四十五圓六十錢この人員三一〇六、口數四七三九、點數一二〇四六▲辨濟總額四万九十七圓五十錢この人員二三一三、口數三九一一、點數九九二五▲利子收入千三百五十圓八十三錢を上げてゐる而して今三月成績はまだ貸付に於て一〇六人一六四口、四七二點・千六百七十八圓廿錢、辨濟九三人、一五三口、三八四點、千五百九十一圓、利子收入五十四圓十八錢に過ぎないが毎月多忙なのは下半期で殊に春着に移る衣替へを控へてゐる當月は前二月成績の貸付四千百七十五圓八十錢、辨濟三千七百三圓八十錢、利子百廿四圓九十八錢を超へる豫想なので全年度貸付は總額は五萬圓を突破するものと見られてゐる

難破豫想の稲荷丸
今朝無事歸港
今度は捜査船歸らず

双葉郡久之濱町字江之網山下八三郎（五〇）氏所有船寒古網第三稲荷丸（十噸）船長山下氏外乘込漁夫七名は一昨十一日朝四倉港を出帆以來久之濱沖合の暴風雨に遭ひ十二日夕刻に至るも歸港せぬ爲難破を豫想され乘組員八名の運命を氣遣はれてゐたが今十三日午前五時頃無事江之網に歸港したので乘組漁夫の家族は一晝夜の心配を解消した

尚第三稲荷丸救助の爲出動した捜査船四倉新町小松巳之助氏所有船底曳網福惠丸二十五噸外五艘は昨十二日朝救助に出たまゝ歸港せぬので今度は四倉水難救濟所で會員が出動し目下捜査を進めてゐる

來りて聽け！
助川代議士の『時局座談會』
今晩六時公會堂で

本社主催助川啓四郎代議士を圍む『時局座談會』は愈々今晩午後六時半から市公會堂日本間に開催する

同代議士は農村經濟に關しては全代議士中第一人者であり、戰時下の食糧確保問題が喧しく論ぜられつゝある際同氏の意見を聽くことは最も有意義であることは言を要しない、又新体制運動に就いては翼賛會結成に先立ち皇運扶翼賛會を結成推進的人物養成のため全國的に呼びかけ早くから國民の啓蒙運動に寢食を忘れて東奔西走、眞に國民運動の先覺者と謂ふべきである

同代議士は今十三日午後六時二十五分平驛着、直ちに會場に向ひ、座談會終了後小憩して同夜零時五十一分發列車で上京する豫定である、尚今晩の座談會には青沼市長諸橋貴族院議員伊藤淺之助、關内、木村兩縣議、其の他有力者多數來會する筈で一般の來聽を歡迎する

木炭組合豫算
二万圓超える豫想
財源に惱む

濱三郡木炭同業組合の定時總會は既報廿二日に開催されるが目下編成中の十六年度豫算は昨年の一萬八千七十五圓より昨年十月から開始された集荷事業があるので少くとも二三千圓を増加し二萬圓を超えるであらうと見られ生産にありてはこれを逆に前年の二百四十萬俵より減ずるであらう豫想から財源を何れに求むるか結局荷票（現在は六厘）に及ぶものでないかと云はれてゐる

農具修理

小名濱町では縣農會修理技術者を農具修理員に囑託し來る十八日役場裏手に第一回修理を施行することになつたが、その農器具は、噴霧器、除草器、製莚機製繩機等で實費で修理することになつてゐる

組隣の寄附 小名濱

町中島町内會第一第二隣組では七社祭の實費を節約して銃後奉公會に金拾圓を代表門馬忠男氏名儀で寄附した

出征記念貯蓄
恤兵献金
一錢銅貨三一一二枚

平市研町八番地伴よてさんは夫君武吉さんが應召以來、武運長久を祈願し〃一錢銅貨貯蓄〃を思ひ立ち夫の歸還後も繼續してゐたが三千枚を超過したので十三日平市役所へ持參陸軍恤兵部へ三千百十二枚そつくり献金した

上級志望者
四倉校九三名

四倉小學校高二及尋六卒業生より中等學校に入學希望數は九十三名で内男子四十五名、女子四十八名、校別左の如し

◇男子部　△磐中、二四△平商九△平工、三△田村中一△白石中、一△双中、二△福師、三△府立三中、一△立正中一

◇女子部　△磐女、四二△角田高女、四△古川高女、一△涌谷高女、一

兵隊〃兄さん〃
本社訪問
奇術公開勞を慰める

昨報、平警察署を慰問した福島市の〃兵隊兄さん〃熊田三郎さんは同日午後四時頃本社を訪ね『銃後に於て一番大きい力を爲してゐるのは新聞社であることを、前線で良く知りました、戰地の兵隊さん方も新聞社の好意には感謝してゐます』と社員一同に慰問の言葉を述べ、數種の奇術を公開して一同を喜ばせ同四時四十九分發列車で歸福した

行政區から
類燒見舞
隣保扶助の精神發露

四倉町第六區では行政區長小沼光造氏外八十四名が協議の結果過般火災に類燒した松本幸助氏に對し見舞金として金二十五圓を贈つた

平市寄附の
工校建築費
起債案内務省通過

縣立工業學校建設費中平市から寄附する十萬圓及同敷地費九萬圓合計十九萬圓の起債許可運動に出京中の青沼市長は十二日夜歸平、起債案は漸やく内務省を通過し大藏省へ廻附された爲近く認可されるものと見られてゐる

激浪洗ふ
小名濱港の被害僅少

一昨夜半よりの南風は雨を混へて暴風雨となり十二日朝方まで時化が續き激浪は恣に工事中の鈴木省三氏請負古港下の縣工事を浚ひ、例に依り平製氷第二工場に激浪は乱舞防波工事の籠石詰は浚流され築港内に繋船中の田中權次郎氏所有揚繰船福惠丸は錨綱を切り中防波堤に激突小破午後に至つても激浪はやまず比佐政楠氏所有開運丸も錨綱を切られ沖合へ流され、午後三時更に濱屋の大勇丸も錨綱を切つて危險に瀕するなど二、八月の時化期節を思はせる大荒れであつたが損害は比較的僅少で夕刻頃には海浪も隱になり漸く愁眉を開いた

商況

（十三日）

【野菜】

	高値	安値
葱	二〇	一五
人參	二二	一八
油菜	一〇	五
ホウレン草	四五	三五
大根	一〇	五
牛蒡	四五	四〇
白菜	二七	
大和薯	一、四〇	

【鮮魚】

シケノタメ入荷ナシ

今週の映畫

世界館　◎極東作品『鐵扇漫遊記』主演……中野傳次郎、田村綾子◎新興特作『落花の舞』主演市川右太衛門、歌川絹枝◎新興『初春娘』主演、山口勇、逢初夢子

平館　◎日活特作『鐵の愛情』主演、小杉勇、瀧花久子◎松竹特作『權三と助十』主演、坂東好太郎、宮紀久子

聚樂館　◎東寶作品『十六年春場所大相撲記錄第一部激鬪前半戰』◎東寶特作『姉妹の約束』主演、原節子◎世界の名譜ダークコンゴ

天氣豫報

今晩　西の風一般によい天氣です

明日　南西の風やはりよい天氣です

（十四日）

滿潮　前四、四〇　後四、四五

干潮　前一〇、五〇　後一一、一五

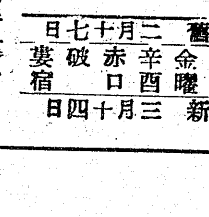
街の話題
【投稿歡迎】

⚑船の心臓盗らる【四倉】　四倉港のアグリ漁船が三艘も一回に船の心臓部とも謂ふべきピストンリングを窃取され間もなく春漁期も終るのに漁場へも出られず船陸へ上るの形で船主は勿論乘組漁夫一同困憊してゐます、機械を外して行つたのですから多分その方の玄人だらうと四倉署は熱心に各方面を洗つてゐるやうですが容易にネタが上らない様子……

海に浮べて居ても、つなぎ離しに留守を置かない不注意が素に成つたのでせうからドロ的にねらはれないやう注意しませう

⚑警防施設に市民の熱意　平市警防團では協會の共濟基金造成の寄附募集に連日活動してゐます、この寄附者には東京大相撲の招待券を贈る仕組に成つて居るやうですが、全市民も時局に照し、警防施設の重大性を認識され熱意を以て協力され、寄附金が豫定を超過する見込みがつき、超過金が出來れば市の施設費にも成ると團員一同も熱心に活動されてゐます

剩つた金で市のポンプでも購入したいとは全市民の熱望でせうから、大いに期待をかけませう



舊二月十七日　金曜　辛酉　赤口　破　婁宿　新三月十四日

▲一白　些細の行違ひより進展を妨げらる〻注意日

▲二黑　進むべき時機にあらず又短慮の爲凶害起る

▲三碧　氣に緩みを起さねば一念は通達するに至る

▲四綠　心に落付無く成らんとする事も挫折を生ず

▲五黄　家居して思案するより外に出で〻相談せよ

▲六白　虎穴に入らざれば虎兒を得ずと奮發すべし

▲七赤　百事休養の日進退共に良果を得るに難き日

▲八白　衰運にして不安の念は去り難し萬事に注意

▲九紫　吉運の如くなれど甘口に乘り失敗し易き日

皇運扶翼會の
『時局座談會』

御來聽歡迎

今夕六時　平市公會堂　日本間

皇運扶翼會は〃天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ〃の御勅語を體して皇道精神を振起し緊迫せる非常時局に對處する臣道實踐の國民運動を説き、修養團体として社會に裨益するところ頗る大きい。本社はこゝに思ふところあり同會の福島縣結成準備會長助川啓四郎代議士を招聘『時局座談會』を開催、大方諸彦多數御來聽を歡迎致します。

講師　助川啓四郎先生

主催　磐城毎日新聞社

弊店のクリーニングが何故良く出來るか？　他店では絶對に眞似の出來ない純ドライクリーニング機械により舶來ベンヂンソープを使用し仕上りは弊店獨特の内外二十四ヶ國の特許ある優秀蒸氣仕上機械を使用するからです、

純毛類の永持には
白榮舍のクリーニング
正直な仕事と…優秀な技術を…お望みのお方は
設備を誇る　白榮舍ランドリー
平・仲田町

割烹
尼子亭
別府(華)温泉

お花も近く
散策日和となりました
おみ足のお序でにぜヒ公園の「[illegible]」へお立寄下さいま
お休みの御用意を整へました
平公園池の端　電話二二六番